

令和4年度

宮崎市大字折生迫財産区特別会計
歳入歳出決算審査意見書

宮崎市監査委員

宮 監 第 8 5 号
令和5年9月29日

宮崎市大字折生迫財産区財産管理者
宮崎市長 清山 知憲 殿

宮崎市監査委員 阪 元 勇
宮崎市監査委員 松 浦 史 典
宮崎市監査委員 上 田 武 広
宮崎市監査委員 関 師 勝 幸

令和4年度宮崎市大字折生迫財産区特別会計
歳入歳出決算の審査意見について

地方自治法第233条第2項の規定により審査に付された令和4年度宮崎市大字折生迫財産区特別会計歳入歳出決算について、次のとおり意見を提出します。

目 次

令和4年度 宮崎市大字折生迫財産区特別会計歳入歳出決算審査意見

| | | | | | | | | |
|------|---|-------|-------|-------|-------|-------|-------|---|
| 第1種 | 類 | | 1 | | | | | |
| 第2対 | 象 | | 1 | | | | | |
| 第3着 | 眼 | 点 | | 1 | | | | |
| 第4主 | な | 実 | 施 | 内 | 容 | | 1 | |
| 第5期 | 間 | | 1 | | | | | |
| 第6審 | 査 | の | 結 | 果 | | 1 | | |
| 第7審 | 査 | 意 | 見 | | 1 | | | |
| 第8決 | 算 | の | 概 | 要 | | | | |
| 1特 | 別 | 会 | 計 | | | | | |
| (1)決 | 算 | 収 | 支 | の | 状 | 況 | | 2 |
| (2)歳 | 入 | | 2 | | | | | |
| (3)歳 | 出 | | 5 | | | | | |
| 2財 | 産 | の | 状 | 況 | | 7 | | |

凡 例

- 文中及び表中の金額は、原則として円単位で算定し、千円未満を四捨五入して表示する。従って、金額の合計と内訳が一致しない場合がある。
- 図中の金額は、原則として百万円未満を四捨五入して表示する。
- 文中及び表中の比率は、原則として円単位で算定し、小数点第2位を四捨五入して小数点第1位まで表示する。従って、比率の合計と内訳が一致しない場合がある。
- 表中の収入率及び執行率の増減は、パーセンテージ間の単純差引数値である。
- 表中の符号の用法は、次のとおりである。
 - 「0」又は「0.0」……該当数値はあるが、単位未満のものも含む。
 - 「－」……該当数値がないか、又はあっても比率が10,000%以上のもの。
 - 「△」……負数を示し、増減を示すときは減を表す。
 - 「皆増」……前年度、該当数値がなく比率が出せないもの。
 - 「皆減」……本年度、該当数値がなく比率が出せないもの。

令和4年度 宮崎市大字折生迫財産区特別会計歳入歳出決算審査意見

第1 種類

地方自治法第233条第2項に基づく決算審査

第2 対象

令和4年度宮崎市大字折生迫財産区特別会計歳入歳出決算

第3 着眼点

決算その他関係書類が法令に適合し、かつ正確であるかを主たる着眼点として審査を行った。

第4 主な実施内容

宮崎市監査基準第15条及び第16条に準拠し、令和4年度宮崎市大字折生迫財産区特別会計の歳入歳出決算書及び決算書附属書類について、関係法令に基づき作成されているか又それらの計数が正確であるかを確認するとともに、試査により、各種帳簿、証書類及び提出された関係書類と照合した。

併せて、予算の執行状況及び決算の内容について、関係職員から説明を聴取するとともに、年度比較によって推移の分析を行うなどの方法により審査した。

第5 期間

令和5年8月4日から令和5年9月22日まで

第6 審査の結果

令和4年度宮崎市大字折生迫財産区特別会計歳入歳出決算書及び決算書附属書類は、いずれも関係法令に基づき作成されており、かつその計数は正確であり、予算の執行及びこれに係る財務会計事務の処理は、おおむね適正であると認めた。

第7 審査意見

令和4年度は、墓地使用料及び青島ビーチサイド活性化プロジェクト(以下、「プロジェクト」という。)に伴う土地貸付等により収入を確保するとともに、財産区有林植栽業務委託を行うなど、財産区有の土地、直営林及び墓地の適切な維持管理を行った。

令和4年度の決算額は、歳入総額が2,332万8千円、歳出総額が2,125万7千円で、前年度に比べ歳入は31万1千円(1.4%)増加し、歳出は43万7千円(2.0%)減少している。歳入が増加した主な要因は、土地貸付収入や墓地使用料が増加したことによるものである。歳出が減少した主な要因は、墓地の維持管理に係る工事請負費や宮崎市大字折生迫財産区基金への積立金が減少したことによるものである。その結果、実質収支額は207万2千円となり、前年度に比べ74万9千円(56.6%)増加した。歳入の予算現額に対する収入率は101.3%、調定額に対する収入率は99.2%である。歳出の予算現額に対する執行率は92.3%で、不用額178万円は前年度に比べ85万6千円(92.7%)増加している。今後も引き続き、歳入・歳出予算のよりの確かな積算に努めるとともに、適正な執行を図られたい。

同基金については、プロジェクトの進行に伴う土地貸付収入の継続的な確保により、令和

元年度以降は同基金からの繰入が不要となり、令和4年度は500万円を積み立てた結果、基金残高は8,030万円となった。

また、歳出においては、地方自治法第296条の5第2項の規定に基づき、令和3年度に引き続き宮崎市が実施する青島地域利便性向上事業への繰出が行われた。

今後とも、地方自治法第296条の5第1項の規定を踏まえ、財産区とその属する市との一体性をそこなわないよう努めながら、住民の福祉増進及び財産の有効活用に取り組まれない。

第8 決算の概要

1 特別会計

(1) 決算収支の状況

決算収支の状況は、次のとおりである。

(単位：千円・%)

| 区 分 | 4年度 | 3年度 | 増 減 | 増減率 |
|----------------------------|--------|--------|-------|-------|
| 歳 入 総 額 (A) | 23,328 | 23,017 | 311 | 1.4 |
| 歳 出 総 額 (B) | 21,257 | 21,694 | △ 437 | △ 2.0 |
| 歳入歳出差引額 (C) (A) - (B) | 2,072 | 1,323 | 749 | 56.6 |
| 翌年度へ繰り越すべき財源 (D) | 0 | 0 | 0 | — |
| 実 質 収 支 額 (E) (C) - (D) | 2,072 | 1,323 | 749 | 56.6 |

- ・歳入総額は2,332万8千円（前年度比31万1千円、1.4%増）、歳出総額は2,125万7千円（同比43万7千円、2.0%減）であり、歳入は前年度に比べ増加し、歳出は前年度に比べ減少した。
- ・歳入歳出差引額（形式収支）及び実質収支額は、ともに207万2千円（同比74万9千円、56.6%増）となっている。

(2) 歳 入

歳入の状況は、次のとおりである。

(単位：千円・%)

| 年 度 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 収入率 | |
|-----|--------|--------|--------|-------|-------|-------|------|
| | | | | | | 対予算 | 対調定 |
| 4 | 23,037 | 23,510 | 23,328 | 0 | 182 | 101.3 | 99.2 |
| 3 | 22,618 | 23,199 | 23,017 | 0 | 182 | 101.8 | 99.2 |
| 増 減 | 419 | 311 | 311 | 0 | 0 | △ 0.5 | 0.0 |
| 増減率 | 1.9 | 1.3 | 1.4 | — | 0.0 | — | — |

- ・収入率は、予算現額に対して101.3%、調定額に対して99.2%である。
- ・収入済額2,332万8千円は、前年度に比べ31万1千円(1.4%)増加している。これは、主に繰越金が225万円減少したものの、財産収入が226万2千円、使用料及び手数料が29万9千円

増加したことによるものである。

- ・収入未済額 18 万 2 千円は、前年度と同額である。

〈 款別の状況 〉

(款別収入済額の前年度比較)

(単位：千円・%)

| 款 | 4年度 | 3年度 | 増減額 | 増減率 | 構成比率 | |
|------------|--------|--------|---------|---------|-------|-------|
| | | | | | 4年度 | 3年度 |
| 5 使用料及び手数料 | 303 | 4 | 299 | 7,181.4 | 1.3 | 0.0 |
| 10 財産収入 | 21,702 | 19,440 | 2,262 | 11.6 | 93.0 | 84.5 |
| 18 繰入金 | 0 | 0 | 0 | — | 0.0 | 0.0 |
| 20 繰越金 | 1,323 | 3,573 | △ 2,250 | △ 63.0 | 5.7 | 15.5 |
| 25 諸収入 | 0 | 0 | 0 | △ 7.9 | 0.0 | 0.0 |
| 計 | 23,328 | 23,017 | 311 | 1.4 | 100.0 | 100.0 |

第5款 使用料及び手数料

(単位：千円・%)

| 年 度 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 収入率 | |
|-----|---------|---------|---------|-------|-------|-------|-------|
| | | | | | | 対予算 | 対調定 |
| 4 | 302 | 303 | 303 | 0 | 0 | 100.3 | 100.0 |
| 3 | 5 | 4 | 4 | 0 | 0 | 83.2 | 100.0 |
| 増 減 | 297 | 299 | 299 | 0 | 0 | 17.1 | 0.0 |
| 増減率 | 5,940.0 | 7,181.4 | 7,181.4 | — | — | — | — |

- ・収入率は、予算現額に対して 100.3%、調定額に対して 100.0%である。
- ・収入済額 30 万 3 千円は、前年度に比べ 29 万 9 千円増加している。これは、主に墓地の新規貸付が 1 件あったことによるものである。

第10款 財産収入

(単位：千円・%)

| 年 度 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 収入率 | |
|-----|--------|--------|--------|-------|-------|-------|------|
| | | | | | | 対予算 | 対調定 |
| 4 | 21,408 | 21,884 | 21,702 | 0 | 182 | 101.4 | 99.2 |
| 3 | 19,036 | 19,622 | 19,440 | 0 | 182 | 102.1 | 99.1 |
| 増 減 | 2,372 | 2,262 | 2,262 | 0 | 0 | △ 0.7 | 0.1 |
| 増減率 | 12.5 | 11.5 | 11.6 | — | 0.0 | — | — |

- ・収入率は、予算現額に対して 101.4%、調定額に対して 99.2%である。
- ・収入済額 2,170 万 2 千円は、前年度に比べ 226 万 2 千円 (11.6%) 増加している。これは、主にその他不動産売払収入が 42 万 9 千円減少したものの、地上権更新に伴う地上権更新手数料

等の土地貸付収入が269万1千円増加したことによるものである。

- ・収入未済額18万2千円は、前年度と同額である。これは、平成30年度に借受人の破産により、土地貸付収入が18万2千円未納となったものが引き続き、収入未済となっているものである。

第18款 繰入金

(単位：千円・%)

| 年 度 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 収入率 | |
|-----|------|-----|------|-------|-------|-----|-----|
| | | | | | | 対予算 | 対調定 |
| 4 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.0 | — |
| 3 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.0 | — |
| 増 減 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.0 | — |
| 増減率 | 0.0 | — | — | — | — | — | — |

- ・予算現額は1千円、調定額、収入済額は、いずれも0円である。これは、土地貸付収入の増加等により、基金からの繰入の必要がなかったことによるものである。

第20款 繰越金

(単位：千円・%)

| 年 度 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 収入率 | |
|-----|---------|---------|---------|-------|-------|-------|-------|
| | | | | | | 対予算 | 対調定 |
| 4 | 1,323 | 1,323 | 1,323 | 0 | 0 | 100.0 | 100.0 |
| 3 | 3,573 | 3,573 | 3,573 | 0 | 0 | 100.0 | 100.0 |
| 増 減 | △ 2,250 | △ 2,250 | △ 2,250 | 0 | 0 | 0.0 | 0.0 |
| 増減率 | △ 63.0 | △ 63.0 | △ 63.0 | — | — | — | — |

- ・収入率は、予算現額に対して100.0%、調定額に対して100.0%である。
- ・収入済額132万3千円は、前年度に比べ225万円(63.0%)減少している。

第25款 諸収入

(単位：千円・%)

| 年 度 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 収入率 | |
|-----|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | | | | | | 対予算 | 対調定 |
| 4 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4.3 | 100.0 |
| 3 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4.7 | 100.0 |
| 増 減 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | △ 0.4 | 0.0 |
| 増減率 | 0.0 | △ 7.9 | △ 7.9 | — | — | — | — |

(※) 令和4年度の調定額、収入済額はともに129円。令和3年度の調定額、収入済額はともに140円。

- ・収入率は、予算現額に対して4.3%、調定額に対して100.0%である。
- ・収入済額129円は、預金利息である。

(3) 歳 出

歳出の状況は、次のとおりである。

(単位：千円・%)

| 年 度 | 予 算 現 額 | 支 出 済 額 | 不 用 額 | 執 行 率 |
|-----|---------|---------|-------|-------|
| 4 | 23,037 | 21,257 | 1,780 | 92.3 |
| 3 | 22,618 | 21,694 | 924 | 95.9 |
| 増 減 | 419 | △ 437 | 856 | △3.6 |
| 増減率 | 1.9 | △ 2.0 | 92.7 | — |

- ・執行率は、予算現額に対して92.3%である。
- ・支出済額2,125万7千円は、前年度に比べ43万7千円(2.0%)減少している。これは、総務費が313万4千円増加したものの、諸支出金が356万9千円、議会費が2千円減少したことによるものである。
- ・不用額178万円は、前年度に比べ85万6千円(92.7%)増加している。

〈 款別の状況 〉

(款別支出済額の前年度比較)

(単位：千円・%)

| 款 | 4年度 | 3年度 | 増減額 | 増減率 | 構成比率 | |
|------------|--------|--------|---------|--------|-------|-------|
| | | | | | 4年度 | 3年度 |
| 10 議 会 費 | 1,559 | 1,561 | △ 2 | △ 0.1 | 7.3 | 7.2 |
| 15 総 務 費 | 8,034 | 4,900 | 3,134 | 63.9 | 37.8 | 22.6 |
| 20 諸 支 出 金 | 11,663 | 15,233 | △ 3,569 | △ 23.4 | 54.9 | 70.2 |
| 25 予 備 費 | 0 | 0 | 0 | — | 0.0 | 0.0 |
| 計 | 21,257 | 21,694 | △ 437 | △ 2.0 | 100.0 | 100.0 |

第10款 議会費

(単位：千円・%)

| 年 度 | 予 算 現 額 | 支 出 済 額 | 不 用 額 | 執 行 率 |
|-----|---------|---------|-------|-------|
| 4 | 1,644 | 1,559 | 85 | 94.8 |
| 3 | 1,651 | 1,561 | 90 | 94.5 |
| 増 減 | △ 7 | △ 2 | △ 5 | 0.3 |
| 増減率 | △ 0.4 | △ 0.1 | △ 5.8 | — |

- ・支出済額155万9千円は、前年度に比べ2千円(0.1%)減少している。これは、旅費が2万4千円増加したものの、交際費が2万6千円減少したことによるものである。
- ・不用額8万5千円は、各費目の執行残である。

第15款 総務費

(単位：千円・%)

| 年度 | 予算現額 | 支出済額 | 不用額 | 執行率 |
|-----|-------|-------|-------|-------|
| 4 | 9,614 | 8,034 | 1,580 | 83.6 |
| 3 | 5,547 | 4,900 | 647 | 88.3 |
| 増減 | 4,067 | 3,134 | 933 | △ 4.7 |
| 増減率 | 73.3 | 63.9 | 144.3 | |

・支出済額 803 万 4 千円は、前年度に比べ 313 万 4 千円 (63.9%) 増加している。これは、墓地維持管理費が 23 万 2 千円、一般管理費が 2 万 5 千円減少したものの、財産管理費が区有林植栽業務委託の増などにより 339 万円増加したことによるものである。

・不用額 158 万円は、各費目の執行残である。

第20款 諸支出金

(単位：千円・%)

| 年度 | 予算現額 | 支出済額 | 不用額 | 執行率 |
|-----|---------|---------|------|-------|
| 4 | 11,732 | 11,663 | 69 | 99.4 |
| 3 | 15,280 | 15,233 | 47 | 99.7 |
| 増減 | △ 3,548 | △ 3,569 | 21 | △ 0.3 |
| 増減率 | △ 23.2 | △ 23.4 | 45.2 | — |

・支出済額 1,166 万 3 千円は、前年度に比べ 356 万 9 千円 (23.4%) 減少している。これは、人件費相当分や青島地域利便性向上事業に係る宮崎市への繰出金が 23 万 1 千円増加したものの、基金への積立金が 380 万円減少したことによるものである。

第25款 予備費

(単位：千円・%)

| 年度 | 予算現額 | 支出済額 | 不用額 | 執行率 |
|-----|--------|------|--------|-----|
| 4 | 47 | 0 | 47 | 0.0 |
| 3 | 140 | 0 | 140 | 0.0 |
| 増減 | △ 93 | 0 | △ 93 | 0.0 |
| 増減率 | △ 66.4 | — | △ 66.4 | — |

・予算現額は 4 万 7 千円で、予備費の充用はなかった。

2 財産の状況

財産の状況は、次のとおりである。

| 区 分 | 単位 | 前年度末現在高 | 年度中増減高 | 決算年度末現在高 |
|-----------------|----------------|------------|----------|------------|
| 1 土 地 等 | m ² | 415,357.33 | △ 7.35 | 415,349.98 |
| 墓 地 | m ² | 31,085.00 | 0.00 | 31,085.00 |
| 青島公園墓地 953区画 | | | | |
| 白坂墓地 81区画 | | | | |
| 五庵園墓地 5区画 | | | | |
| 山 林 | m ² | 104,104.51 | △ 72.29 | 104,032.22 |
| ※ 山林(立木の推定蓄積量) | m ³ | 1,561.56 | △ 1.08 | 1,560.48 |
| 原 野 | m ² | 236,331.08 | 0.00 | 236,331.08 |
| ※ 原野(立木の推定蓄積量) | m ³ | 2,706.06 | 808.89 | 3,514.95 |
| 池 沼 ・ 溜 池 | m ² | 3,064.00 | 0.00 | 3,064.00 |
| 宅 地 | m ² | 22,156.05 | 927.00 | 23,083.05 |
| 地 上 権 設 定 地 | m ² | 6,276.00 | △ 927.00 | 5,349.00 |
| そ の 他 | m ² | 12,340.69 | 64.94 | 12,405.63 |
| 2 出 資 に よ る 権 利 | 千円 | 883 | 0 | 883 |
| 宮崎中央森林組合出資金 | 千円 | 883 | 0 | 883 |
| 3 基 金 | 千円 | 75,300 | 5,000 | 80,300 |
| 折生迫財産区基金 | 千円 | 75,300 | 5,000 | 80,300 |

※土地等の合計には、山林及び原野の立木の推定蓄積量を含まない。

- ・土地等（山林及び原野の立木の推定蓄積量を除く）については、地上権設定地の契約期間満了に伴い地上権が抹消されたことにより、地上権設定地が927.00 m²減少し、宅地が927.00 m²増加した。また、令和4年度白浜地区自然保護用地にかかる土地交換に伴い、その他の土地が64.94 m²増加し、山林が72.29 m²減少した。
- ・出資による権利については、決算年度中において増減はなかった。
- ・基金の決算年度末現在高は8,030万円で、前年度末残高から500万円増加した。

